

那珂市議会だより

Naka City Assembly News



No.33

平成24年5月9日発行

桜の開花とともに新年度がスタート!



平成24年那珂市議会第1回定例会

議決した主な議案等 2ページ

平成24年度当初予算を審議 6ページ

市政を問う 6議員が一般質問 8ページ

第2回定例会開会予定 12ページ

発行/那珂市議会

編集/議会広報編集委員会

〒311-0192 茨城県那珂市福田1819-5

TEL 029 (298) 1111 (代表)

FAX 029 (298) 6287

MAIL gikai@city.naka.lg.jp

URL <http://www.city.naka.lg.jp/>

被災地(岩手・宮城)のがれき受け入れを決議



市に決議書を提出しました

東日本大震災で発生したがれき受け入れに関する要請決議

昨年3月11日、マグニチュード9.0という世界最大級の東日本大震災が発生し、地震・津波により、我が国でかつてないほどの大きな被害を受けた。加えて、津波による東京電力福島第一原子力発電所の事故は、放射能漏れを引き起こし、被害をさらに深刻化させている。

これまでに多くの人々が、被災地の復旧と復興に向けて取り組んでおり、様々な形で支援を進めてきた。

しかしながら、被災地の復旧と復興に向けて大きな障害となっているのが、膨大ながれきの処理である。岩手、宮城、福島の3県では、約2,253万トンのがれきが発生し、1年経過した現在でも6%程度しか処理ができていない状況である。政府は処理が進まないがれきのうち、県内処理を国が決められている福島県を除く、岩手県の約11年分に当たる約476万トン、宮城県の約19年分に当たる約1,569万トンのうち401万トンについて広域処理をすることとし、全国の自治体に対して協力を呼びかけているが、受け入れが進んでいないのが実情である。

よって、本市議会は本市に対して、那珂市民の安定的なごみ処理を確保することを条件に、放射能の影響を科学的な知見により検証し、安全性が確認されるものについてのみ積極的な処理支援に取り組むことを要請する。

なお、受け入れに際し、岩手、宮城両県のがれきについて情報を開示し、国及び本市が市民への説明責任を履行するようあわせて要請する。

以上、決議する。

平成24年第1回定例会

(3月12日～3月27日)

3月12日 本会議
(議会・委員会の構成など)

3月13日 本会議
(議案の審議・議決など)

3月14日 本会議
(議案の審議・議決など)

3月15日 総務生活常任委員会

3月16日 産業建設常任委員会

3月19日 教育厚生常任委員会

3月22日 本会議
(一般質問 5名)

3月23日 本会議
(一般質問 1名)

3月27日 本会議
(委員長報告、その他議案)

議案件数と結果

市長提出議案(49件)

条例関係 19件 (すべて可決)

予算関係 21件 (すべて可決)

その他議案 9件 (すべて承認・可決・同意)

議員提出議案(13件)

選挙 6件 (指名推選 当選決定)

その他議案 7件 (すべて可決)

人 事

議会構成が以下のとおり決まりました

(◎委員長、○副委員長)



議長 福田耕四郎



副議長 君嶋 寿男

総務生活常任委員会



木内 良平	綿引 孝光	◎中崎 政長	加藤 直行	○萩谷 俊行	勝村 晃夫	海野 進	小宅 清史
----------	----------	-----------	----------	-----------	----------	---------	----------

産業建設常任委員会



須藤 博	寺門 厚	◎中庭 正一	君嶋 寿男	○助川 則夫	石川 利秋	福田耕四郎
---------	---------	-----------	----------	-----------	----------	-------

教育厚生常任委員会



笹島 猛	木野 広宣	◎遠藤 実	筒井かよ子	○武藤 博光	古川 洋一	木村 静枝
---------	----------	----------	-------	-----------	----------	----------

議会運営委員会



人 事

那珂市監査委員の選任
に同意

加藤 直行 議員

茨城北農業共済事務組
合議会議員の当選決定

中庭 正一 議員
助川 則夫 議員
須藤 博 議員

水戸地方広域市町村圏
事務組合議会議員の当
選決定

福田耕四郎 議員
中崎 政長 議員

茨城県後期高齢者医療
広域連合議会議員の当
選決定

遠藤 実 議員

大宮地方環境整備組合
議会議員の当選決定

副市長の選任に同意

福田耕四郎 議員
君嶋 寿男 議員
中崎 政長 議員
加藤 直行 議員
海野 進 議員
木内 良平 議員



松崎 達人氏

補 正 予 算

平成 23 年度補正予算を原案どおり可決しました。

▲は減額

会 計 名	補 正 額	補正内容	補正後の総額
一般会計補正予算 (第9号)	14億4,216万円	単独災害復旧事業など	231億2,849万円
国民健康保険特別会計 補正予算(事業勘定)	4,945万円	退職被保険者等療養給付費など	52億 620万円
下水道事業特別会計補正 予算	▲1億1,717万円	単独災害復旧事業など	24億8,265万円
公園墓地事業特別会計 補正予算	91万円	一般会計繰出金	1,468万円
農業集落排水整備事業 特別会計補正予算	▲2億2,940万円	補助災害復旧事業など	7億3,743万円
介護保険特別会計 補正予算(保険事業勘定)	4,813万円	介護サービス給付事業など	35億 804万円
上菅谷駅前地区土地区画 整理事業特別会計補正予算	▲7,096万円	区画整理事業費など	1億9,447万円
後期高齢者医療特別会計 補正予算	▲802万円	広域連合納付金	4億3,298万円
水道事業会計補正予算 収益的支出	1,265万円	資産減耗費など	12億9,576万円
水道事業会計補正予算 資本的支出	12万円	法定福利費	5億4,478万円
一般会計補正予算 (第10号)	4億 777万円	基金積立事業など	235億3,626万円

特別委員会

条例関係

原子力安全対策特別委員会を設置

原子力安全対策特別委員会は、原子力関連施設すべての諸問題に関して住民の安全確保と環境保全の観点から、調査活動を行うため設置しました。

那珂市活性化対策特別委員会を設置

那珂市活性化対策特別委員会は、当市における地域振興対策や、住民に対する安全・安心な生活環境を守り魅力あるまちづくりに関する諸対策を推進する必要があることから設置しました。
 なお、特別委員会も傍聴できるようになりました。

震災復興まちづくり基金条例を制定

東日本大震災からの復興に向けて、茨城県から交付される市町村まちづくり支援事業交付金等を活用し、活力あるまちの再生を図るため、本条例を制定しました。

墓地、埋葬に関する法律施行条例を制定

「地域の自主性及び自主性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の成立に伴い、これまで県知事の権限であった墓地の経営許可等の事務が市長権限になりました。
 それに伴い、新たに那珂市墓地、埋葬等に関する法律施行条例を制定しました。

2つの都市公園が完成

竹ノ内第3公園及び第5公園が完成しました。これらの公園を都市公園として追加するため、那珂市都市公園条例の一部を改正しました。



完成した竹ノ内第3公園

契 約

第三中学校校舎災害復旧及び
屋内運動場耐震補強工事

契約金額 2億2,470万円
 工 期 平成24年3月27日から
 平成24年11月30日まで
 契約相手 水戸市三の丸2丁目11番17号
 鈴縫・浅川特定建設工事
 共同企業体
 代表者
 鈴縫工業株式会社水戸営業所
 所長 鈴木 達二

契約方法 一般競争入札による契約

第二中学校校舎災害復旧及び
屋内運動場耐震補強工事

契約金額 2億6,985万円
 工 期 平成24年3月13日から
 平成24年11月30日まで
 契約相手 日立市幸町2丁目18番5号
 日立土木・清水特定建設工事
 共同企業体
 代表者
 日立土木株式会社
 代表取締役 沢畑 正剛

契約方法 一般競争入札による契約

平成24年度各種会計予算 294億7,845万円を可決

平成24年度 各種会計予算

会計区分	予算額	会計区分	予算額
一般会計	170億 円	介護保険特別会計(保険事業勘定)	37億2,200万円
国民健康保険特別会計(事業勘定)	51億8,900万円	上菅谷駅前地区土地区画整理事業特別会計	1億9,500万円
下水道事業特別会計	21億 400万円	後期高齢者医療特別会計	4億5,300万円
公園墓地事業特別会計	1,100万円	那珂地方公平委員会特別会計	45万円
農業集落排水整備事業特別会計	8億 400万円	合 計	294億7,845万円

平成24年度 水道事業会計予算

収支区分		予算額	収支区分		予算額
収 益 的 収 支	収 入	11億1,632万円	資 本 的 収 支	収 入	8,185万円
	支 出	11億 737万円		支 出	4億4,308万円

常任委員会の審議内容

総務生活常任委員会

歳入において、市たばこ税について質疑があり、本数は減少しているが1本あたりの税額が1・32円増額となつたため増額しているとの答弁でした。

新規のコンビニ収納事務事業について質疑があり、地銀ネットワークサービス㈱と提携している全国約4万5千店舗、県内約1300店舗、市内約25店舗のコンビニにおいて24時間いつでも納税が可能となるため、納税者の利便性の向上及び納税機会の拡充につながり、収納率の向上が図られるとの答弁でした。

防災施設整備事業の防災井戸設置について質疑があり、災害時の飲料水を確保するため、避難所の拠点となる施設2か所に井戸を掘るとのことでした。

委員から、井戸水だけではなく、市内の湧水の場所も確認し、検査や整備をしてほしいとの意見がありました。

産業建設常任委員会

農業委員会委員の定数について質疑があり、現在、選挙による委員19人、推薦による委員6人の計25人が定数である。今後定数削減の方向で検討しているとの答弁でした。

新規事業の地域農業マスタープラン作成事業の内容について質疑があり、市内8地区に検討委員会を設け、地域農業担い手の方、農業後継者など、11人程度で構成し、年2回程度の開催を予定しているとの答弁でした。

委員から、マスタープラン作成の際、目的を設定し、農業の活力になる事業にしてほしいとの意見がありました。

水道事業会計の中で、自家発電器設置工

事の設置目的について質疑があり、昨年の東日本大震災を踏まえ、東木倉の深井戸から取水している水を、可搬式の発電器を設置し、非常時に深井戸から取水することを考えて予算化をしたとの答弁でした。

教育厚生常任委員会

家庭教育学級開設事業について質疑があり、各学級の自主性に任せているが、24年度は全体を対象とした人権問題の講演会を考えている。震災後ということ、家庭とは何かというテーマを投げかけていきたいとの答弁でした。

生活保護受給者が増えているが扶助費が減少していることについて質疑があり、扶助費の中で、医療扶助費が大きな割合を占めているものの、長期入院患者の減少やレセプト点検の成果により減っているとの答弁でした。

平成24年度 一般会計予算（歳入内訳）

▲は減額

款名称	24年度当初	前年比較増減
市税	61億6,419万円	▲5億1,924万円
地方交付税	36億1,000万円	2億2,000万円
国庫支出金	18億 618万円	▲1,832万円
市債	17億5,398万円	1億3,541万円
県支出金	10億9,058万円	▲4,002万円
繰入金	5億8,462万円	3億4,650万円
地方消費税交付金	4億5,286万円	268万円
諸収入	3億8,390万円	▲1,862万円
地方譲与税	2億9,200万円	▲230万円
分担金及び負担金	2億6,708万円	▲1,789万円
繰越金	2億5,000万円	0万円
使用料及び手数料	2億 310万円	1万円
自動車取得税交付金	6,200万円	700万円
地方特例交付金	2,880万円	▲7,144万円
利子割交付金	1,517万円	▲472万円
配当割交付金	1,160万円	195万円
財産収入	1,135万円	46万円
交通安全対策特別交付金	850万円	0万円
株式等譲渡所得割交付金	258万円	▲146万円
ゴルフ場利用税交付金	151万円	0万円
合 計	170億 円	2,000万円

平成24年度 一般会計予算（歳出内訳）

▲は減額

款名称	24年度当初	前年比較増減
民生費	53億6,150万円	▲2,219万円
土木費	22億8,616万円	5,424万円
総務費	22億7,030万円	7,577万円
公債費	20億3,182万円	▲1,486万円
教育費	18億 907万円	9,553万円
衛生費	12億 414万円	▲1億1,131万円
消防費	9億5,193万円	9,080万円
農林水産業費	6億4,961万円	▲9,021万円
議会費	2億3,327万円	▲5,487万円
商工費	1億8,187万円	▲821万円
予備費	2,000万円	500万円
災害復旧費	32万円	31万円
諸支出金	1万円	0万円
合 計	170億 円	2,000万円

国民健康保険特別会計の中で、一般会計から1億円の繰入を行い、基金の一部を取崩したことについて質疑があり、退職者の被保険者数が伸びており、療養給付費も年々増加傾向にあるとの答弁でした。

介護予防事業の内容について質疑があり、市内3か所の地域包括支援センターに委託しているもので、シルバリーハビリ体操や認知症予防のために頭の体操等を実施しているとの答弁でした。

市政を問う

6人の議員が登壇し、
様々な視点から
市政を質しました。



医療施設等が立地可能な見直しを

実施状況を見極めて見直しを

寄居工業地域は、昭和48年1月に用途地域の指定を受けたが、森林法で住居開発は20%以上、工業は25%以上の緑地確保が必要である。その結果平成15年7月の工業系土地利用は3・8%。また、平成20年度は6%である。更に、本市の工業統計調査によると事業者数が12年間で約40%減少し出荷額等も平成20年度から3年間で約49%の減少である。このような状況を鑑みると新たな企業立地は皆無と考えられる。また、指定から約40年近く経過しており、未利用地にも拘らず固定資産税等を徴収されている。そこで医療施設等が立地可能な準工業地域に見直し、住民が安心して暮らせる様最善を尽くすべきではないか。

建設部長 都市的な土地利用が実施され、かつ事業の確実性と実施状況を見ながら、寄居工業地域の都市計画の見直しを考えていきます。

等、様々な要因で新たな企業立地は容易でないと考えております。

産業部長 現在の経済状況・地価の問題

工業統計調査による那珂市の事業者数

	従業員 4～ 29人	従業員 30～ 299人	従業員 300人 以上	総数
平成18年	73	15	2	90
平成19年	70	18	2	90
平成20年	75	20	2	97
平成21年	65	22	1	88
平成22年	59	20	1	80

質問事項

- 1 寄居工業地域について



石川利秋 議員

放射能汚染不安に対する対策を

市内くまなく空間線量測定し公表

福島第一原発事故から1年がたち、放射能汚染の不安が広がっています。特に小さい子を持つ女性の不安は大きく、子を守るために積極的に活動を始めています。市としても市民の安全安心のために、どう対応するかが求められています。

放射能汚染の状況やそのマップ作り、公表、学校給食の放射能の測定は1食分、低い数値まで測定できる機械の購入、ヨウ素剤の事前各戸配布などが求められています。どのように対応していくのか伺います。

市民生活部長 3月27日までに、市内全域を空間線量測定器を搭載した公用車でまわり、空間線量を把握し、公表することになっています。汚染マップについては今のところ検討していません。



土壌除去の様子
(茨城県原子力安全対策課ホームページより)

ヨウ素剤の各戸への事前配布については、国や県の具体的な話が出たら各家庭に配布したいと思います。

教育次長 学校給食は簡易測定器なので、ゲルマニウム半導体検出器購入が必要ですが高価で購入できません。

質問事項

- 1 福島第一原発事故による市民の安全、安全に対する対策



木村静枝 議員

中学校の扇風機設置

平成25年に実施していきたい

小学校の扇風機は平成20年度から整備されましたが、児童や先生方からは夏の暑い時期でも快適に学習できると大変好評のようであります。

中学校の数で考えますと、60クラスあります。今後、中学校につきまして、どのように設置されるか伺いたします。

教育次長 平成23年第4回定例会で、教育環境の整備・改善に合致した交付金事業が活用できれば整備を進めたいとご答弁申し上げましたが、平成24年度につきましては、小・中学校の災害耐震工事を早急に進めてまいりますので、扇風機設置工事につきましては、平成25年度に実施してまいりたいと考えております。



小学校の扇風機設置

質問事項

- 1 中学校への扇風機設置
- 2 井戸水マップ作成



木野広宣 議員

まちづくり委員会の活動拠点は

年次計画を立て整備していく

市内8地区の各まちづくり委員会の活動拠点について、昨年額田地区に拠点となる施設が完成致しました。市の中心部より離れた木崎、戸多地区について、これからの計画を伺います。

また、木崎地区はプレハブのうえに借地であり、今後の市の考え方をあたね致します。

市民生活部長 各地区の活動拠点でございますが、神崎、五台、芳野、瓜連については、コミュニティセンター内に事務局が設置され額田地区は昨年新設されました。

木崎地区につきましては、借地のうえ、リースのプレハブ利用であります。このような状況を考えますと、市といたしましては、年次計画を立て今後整備をしてまいります。



木崎まちづくり委員会事務局

質問事項

- 1 まちづくり委員会の活動拠点について
- 2 道路行政について
- 3 向山工業団地那珂原研西側地の利用について
- 4 議会の書類印刷物について



中崎政長 議員

雇用拡大の観点からも企業誘致を

市独自の有効な策を検討していく

新卒者の就職状況を見る限り、市内の企業等には就職の受け皿が少なく、若い方々が安心して働ける場を確保するためには企業誘致に頼らざるを得ないのが現状です。市長のトップセールスにも限界があり、なかなか実を結ばないことから、現在の固定資産税の優遇措置だけでなく、企業が魅力を感じるような市独自の思い切った策が必要ではないかと思っております。今後の企業誘致の方針を伺います。

市長 雇用の拡大は地域の賑わいづくりを醸成することから大変重要なことと認識しております。これまでのトップセールスに加え、新たな電源地域振興センターの企業誘致支援サービスの活用して、PRや情報収集に力を入れていきます。

また、分譲価格も大きな要因ですので、価格の引き下げなども県に要望してまいります。市独自の優遇措置の具体的な策については、他の自治体の事例を勘案しながらよく検討して、これが一番有効だという策を考えていきます。



那珂西部工業団地の空きスペース

質問事項

- 1 「那珂市くらしの便利帳」の発行について
- 2 企業誘致の状況について
- 3 防災訓練について



古川洋一 議員

次の災害への備えをしっかりと

地域防災計画を見直し検証します

市は「東日本大震災復旧・復興方針」を策定しましたが、震災時に行政は何かできて何ができなかったかをしっかりと検証していただきたい。市は41か所の避難所を指定していますが、このうち震災時に開設できたのは何か所か。また、開設できなかった理由は。また、自主防災組織の育成を強化していた、いただきたいが、活性化のために自主防災組織同士の横の連携を深める連絡協議会を結成してはどうか。さらに、防災訓練を実施し、連絡系統・避難方法・避難所の運営などを整理していただきたいがどうか。

物の安全性が確認できなかったこと、施設に勤務する職員の認識不足からです。自主防災組織の連絡協議会については結成に向け調査研究を図ります。避難訓練の実施にあたっては、震災を検証して実践的な訓練を計画していきたい。

危機管理監 対策本部が指定した避難所はひだまりなど7か所。開設できなかった理由は、通信手段が遮断されすべての避難所の建



自主防災組織の訓練の様子

質問事項

- 1 東日本大震災復旧・復興方針について



遠藤 実 議員

請願・陳情の提出について

(記載例)

○○○請願 (陳情)

紹介議員 _____ 印
(陳情の場合は紹介議員不要)

要旨 (内容を簡潔・明瞭に記載してください)

平成○年○月○日

請願 (陳情) 者

住所 _____

氏名 _____ 印

※電話番号 _____

(※後日、連絡をする場合がありますので、電話番号を記載してください)

那珂市議会議長 ○○ ○○ 宛て

※その他の注意
書式は、縦書き、横書きは問いません。

請願や陳情は、市政に関することや身近な問題などについて、市民の皆様のご要望等を直接市議会に提出できる制度です。

提出方法は、左記の記載例を参考に請願 (陳情) 書を作成して、那珂市議会議長宛て (議事事務局) へ提出してください。

なお、請願・陳情は、定例会において審議しますので、定例会開会の10日前までに提出していただきますよう、お願いいたします。

平成24年第2回定例会開会 予定のお知らせ

開会の初日、6月5日(火)となる予定です。
会期日程については、現在は6日以降の日程は、未定となっております。

会期日程については、議会事務局まで、お問い合わせいただくか、那珂市ホームページをご覧くださいいただきますようお願いいたします。

月日	曜	議事予定
6・5	火	○開会
6・6 以降	水	未定

また、請願・陳情を議会へ提出される場合は、5月25日(金)までにお願いいたします。

議会の会議録について

議会の本会議の会議録は、公開しており、閲覧することができます。

議会ホームページには、平成17年3月以降の議会定例会の会議録を掲載しております。

ご意見の募集について

那珂市議会では、より良い議会だよりをつくるため、市民の皆様のご意見を募集します。

ご意見については、那珂市議会事務局までお願いします。

夢と希望をのせて今年も桜が咲きました。各々の出発を応援するかのよう、そして復興への確かな歩みを支えるように空いっぱい、枝をのびます。子どもたちの笑顔と歓声がいつまでも続くことを願います。

表紙に寄せて

議会の傍聴について

特別委員会も傍聴できるよう改正しました

那珂市議会では、議会の本会議・常任委員会・特別委員会を公開しております。

傍聴をご希望のかたは、事前に会議の開催日や時間をご確認の上、おいください。傍聴の手続きは、所定の用紙に住所・氏名を記入していただき、傍聴券の交付を受けるだけです。お気軽においでください。

3月定例会の傍聴者数 51名(延べ人数)

議会のホームページについて

<http://www.city.naka.lg.jp/>の「市議会のページ」をクリックしてください。

様々な議会情報を掲載しております。

The screenshot shows the Naka City Website homepage. At the top, there's a banner with the city logo and 'Welcome to Naka City Website'. Below that, there are several sections: '市長の部屋' (Mayor's Room) with a photo of the mayor, '新着情報' (New Information) listing recent news items with dates, 'ご意見・ご提案' (Opinions and Proposals), 'トピックス' (Topics), and 'くらしの情報' (Living Information). On the right side, there are sections for '文字の大きさ' (Text Size), '那珂市の人口' (Naka City Population), 'いざという時は' (In case of emergency), and '募集します' (Recruitment). At the bottom right, there's a '施設案内' (Facility Guide) section.

「市議会のページ」では、

- ◎市議会議員名簿
 - ◎議決結果
 - ◎一般質問通告書
 - ◎市議会だより
- などを掲載しています。

編集後記



古川 洋一

改選後の議会広報編集委員には4名の新人議員が加わりました。固定観念を捨て、市民の皆様が何を知らたいのかをよく考え、より市民目線に近い「議会だより」が発行できればと考えております。

ご意見やご要望などございましたら、是非お聞かせいただければと思います。

表紙の写真の投稿もお待ちしております。

議会広報編集委員会

- 委員長 古川 洋一
- 副委員長 綿引 孝光
- 委員 筒井かよ子
- 委員 寺門 清厚
- 委員 小宅 正史
- 委員 中庭 一
- 委員 君嶋 寿男